

2026年5月15日

MUSICBAR HAMAMATSU

5/21 ザザ中央館 オトナのブカツ 第2回「音部」
浜松を舞台にした市民参加型映画「イニシャルイズ」
特別対談開催のお知らせ

2026年春よりザザシティ浜松 中央館1階 フードホール「はままつ楽市」にて開催されている大人が趣味を楽しむ参加型企画「オトナのブカツ」にて、2026年5月21日（木）第2回「音部（おとぶ）」を開始いたします。



■ 第2回音部のテーマとゲスト

今回のテーマは「浜松の景色から生まれた映画音楽。2人の挑戦」。

6/14（日）に試写会を控える市民参加型映画「イニシャルイズ」の特別対談として、映画監督 原宏樹氏と音楽担当 nih氏を迎え、トークや音楽の視聴、交流を通して掘り下げます。100人を超える浜松市民が撮影、エキストラ、ロケ地提供等で参加した映画の劇中音楽。その誕生秘話をお楽しみください。

映画概要：<https://www.pinesfilm.com/映画イニシャルイズ>

・原宏樹（映画イニシャルイズ 監督）

浜松市出身。CMの制作会社業務を経て、企業のYouTubeアカウントの制作・運営を担当。ASIAN KUNG-FU GENERATION『宿縁』、Nulbarich『It's All for US』では企画プランナーとして企画・制作に携わる。

・nih（映画イニシャルイズ 音楽担当）

「肌を感じられる音楽と抽象絵画のような音楽表現の想像」をテーマに、日本で活動を開始する。NHKドラマ「どうせ死ぬなら、パリで死のう。」の音楽を担当し、その独自の音楽性が注目を集めている。

■開催概要

イベント名：音部 #2 「浜松で生まれた映画音楽。2人の挑戦」
日時：2026年5月21日（木） 19:30～20:10 トークライブ
20:10以降 交流（自由解散）
会場：ザザ中央館 1F フードホール 浜松楽市
（住所：静岡県浜松市中区鍛冶町100-1 1F）
参加費：入場無料（フードホール内での飲食をお願いします）
内容：ゲストトーク・参加者交流
運営：MUSICBAR HAMAMATSU
申込方法：予約不要

■音部とは

ザザ中央館「オトナのブカツ」内で開催している浜松市の“音の技術”と“音楽文化”をテーマにしたトークライブ&交流イベントです。

楽器メーカー、演奏者、ライブハウス、エンジニア、イベント企画者など、浜松に根づく多様な「音」のプレイヤーに焦点を当て、その背景にあるストーリーや文化を共有する場として開催しています。

単なるライブイベントではなく、「なぜ浜松で音楽文化が育まれてきたのか」を、世代や立場を越えて語り合える場づくりを目指しています。

■音部開催の背景

浜松市は、世界的な楽器メーカーや高度なものづくり技術を有する、“音”に深く関わる地域です。一方で、その技術や文化、人の営みが語られる機会は多くありません。

音部では、浜松の音をつくってきた「人」や「歴史」にフォーカスすることで、浜松ならではの音文化を次世代へつないでいくことを目指しています。

MUSICBAR HAMAMATSUについて

浜松市を拠点に、音楽を通じた出会いと街づくりを行う団体です。街の景色になるライブ・イベントの企画を行っています。

音の街・浜松”ならではの魅力を活かし、音楽を観光や地域文化につなげることを目指します。



《プレスリリースについてお問合せ》

MUSICBAR HAMAMATSU 担当・宮井

Mail: musicbar.hamamatsu@gmail.com